

アジフライカンパニーKADOYA は、 フライ界におけるアジフライの地位向上のため 3月21日を「アジフライの日」に制定しました。

株式会社角屋食品（本社：鳥取県境港市竹内団地 62、代表取締役：角谷直樹）は、この度 3 月 21 日を「アジフライの日」として申請し、日本記念日協会様より認定いただきました。

【株式会社角屋食品】<https://kadoya-tottori.jp/>

【一般社団法人日本記念日協会】<https://www.kinenbi.gr.jp/>

■アジフライの日とは

アジは魚偏に「参=3」と書きます。そして、フ(=2) ライ(=1) という語呂合わせから、3月21日を「アジフライの日」として日本記念日協会様に申請し、この度認定していただくことができました。

アジは日本人にはたいへん馴染み深い魚であり、縄文時代にはすでに食されていたと考えられています。またアジの語源は“味が良いこと”に由来するといわれており、美味しい魚として古来より認識されていました。明治初期に考案されたアジフライは、パン粉の普及と共に日本人に馴染み深い食べ物として普及していき、現在ではおかずだけでなく、酒の肴としても食される人気の“和食”となっています。

それにもかかわらず、弊社では「フライ界におけるアジフライの地位が低すぎるのではないか」という課題を感じていました。そんな課題のもと、KADOYAは「狙ってます、エビフライの座。」をキャッチコピーにした

新パッケージを開発し、アジフライの地位向上に向けた活動を展開。そんな活動の一環として、今回「アジフライの日」を制定する運びとなりました。今後、毎年3月21日にはアジフライをより身近に感じていただくとともに、日本の水産業やフライ製造についての理解を深めてもらえる機会を提供できればと考えております。



日本記念日協会様より授与された登録証

■株式会社角屋食品の取り組み

当社は“アジフライカンパニー”をコンセプトに、美味しさだけでなく、楽しさや面白さも食卓にお届けできるアジフライメーカーを目指しています。2021年にはアジフライカンパニーの名にかけて作る、究極のクラフトアジフライ『鱈王』をリリース。クラウドファンディングを通じて多くの方々の支援を得て実現させることができました。また同年は、お子さまたちに楽しくアジフライを食べてもらうために『すみっこぐらし™ ていねいな仕事のあじふらい』を発売しました。今後も角屋食品はアジフライ文化のリーディングカンパニーとして、楽しく、豊かな食生活に貢献してまいります。



究極のクラフトアジフライ『鯨王』



すみっこぐらし™ ていねいな仕事のあじふらい

■アジフライの日制定記念キャンペーン

アジフライの日が正式に認定されたことを記念して、「3月21日はアジフライの日」の投稿をRTしてくれた方のなかから、抽選で10名様に、日本テレビ“今夜くらべてみました”でも取り上げていただいた『KADOYAのアジフライ』を321円で購入いただけるキャンペーンを開催いたします。KADOYAのアジフライに対する思いを文字にした、ユニークなパッケージでお届けします。KADOYAのアジフライをまだ食べたことがない方も、そろそろ買い足そうかなと思っていた方も、この機会にぜひご利用くださいませ。

【商品紹介】

KADOYAのアジフライ ホームページ限定セット

通常価格:2,980円(税込 3,218円)

⇨ 10名様限定 キャンペーン特別価格 321円(税込)



KADOYAのアジフライ

【会社概要】

会社名:株式会社角屋食品

代表:代表取締役 角谷直樹

所在地:鳥取県境港市竹内団地 62

設立:2006年6月

事業内容:アジフライ他、水産加工食品製造

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社角屋食品

kadoya3283@cap.ocn.ne.jp